

## 1. 普及啓発活動・環境教育

## 1) 石狩浜ふるさと海辺セミナー

石狩浜の自然とその保全の必要性について広く知ってもらうための場であるとともに、石狩浜の保全活動への支援を呼び掛ける。

内容案：フォーラム（地形、砂丘動植物、昆虫、海の生き物など専門家による話題提供）

観察会（石狩海岸を巡るバスツアー）

自然教室（こども向け、初心者向け）

市民調査（シーズン通して 3 回程度・講師依頼）

市内市外の関連施設との連携による。それによる市外への PR を重視、市外からの支援者の充実を図る。

次年度以降継続開催

## 2) 海辺の自然啓発キャンペーン

期間を設け、海辺の自然環境に関する情報発信を密に行い、保全を幅広い層へ呼びかける。

内容：ちらし・ポスター、出前の自然教室等

対象：海岸レジャー利用者 期間：夏休み期間

石狩浜環境保全連絡会議・観光関係との連携が必要

## 3) 地域交流事業「ふるさと海辺フォーラム in 宮城」

全国各地の海辺の保全活動を推進するため、石狩浜の保全活動に関する情報発信と、各地の活動を結ぶ情報交流網づくりを進める。

開催場所：宮城県名取市

開催時期：5 月予定

## 4) 定例行事：海辺の自然塾（随時）

自然観察会（6 月・9 月）

こども自然教室（夏休み期間、8 月～9 月、10 月）

## 5) 展示：自然情報発信、企画展示、クラフトコーナーの充実

## 6) 情報発信：機関誌「はまぼうふう」の発行（4 回／年） パネル展示、HP 等

## 7) 環境教育：学校の授業への講師派遣、現地自然学習案内等

## 8) 意識啓発：団体見学の案内、海浜植物の種子配布、

市街地の公園での海浜植物花壇整備（花川南、紅南）継続の検討

## 9) 周辺自治体所管の環境保全関連施設との連携による海岸保全に関する啓発事業

（具体的には 1）を参照）

## 2. 保全施策

- 1) 監視：保護地区の監視
- 2) 一般海岸・海岸保全区域の保全：植生保護柵の維持管理  
(センター、北海道札幌建設管理部との分担)
- 3) 保護区の拡大(通称シップ原生花園) 石狩川河口海浜植物等保護条例改正検討
- 4) 海岸保全：石狩浜環境保全連絡会議運営、学識者、利害関係者の参加検討  
石狩浜の利用と保護の方向性に関する検討

## 3. 調査研究

- 1) はまなすの丘メッシュ図への情報集約
- 2) はまなすの丘地形変化の把握
- 3) 生態系データベースの整備(植生・野鳥・昆虫・海生生物等)
- 4) 自然情報収集：開花状況、自然情報収集(ボランティア GP)
- 5) 自然再生：砂丘地形及び植生の回復実験(北大大学院農学研究院&センター)
- 6) 石狩浜モニタリングサイトの設定 海岸草原・湿地植生調査区の再調査

## 4. 環境整備

- 1) はまなすの丘景観保全：ボランティアによる外来植物除去(4月、10月)
- 2) 自然ふれあい：見本園の整備・管理、センター～歴史公園散策路の整備・管理、  
親船名無沼観察場の整備・管理、育苗温室での移植用苗育成・管理

## 5. ボランティア支援

- 1) 組織づくり  
幅広い市民からの支援確保・寄附金等の受け皿となる母体
- 2) 活動支援  
既存グループの活動支援

## 6. センター施設維持管理